

長者原ビジターセンター

長者原の特徴

長者原高原は、阿蘇くじゅう国立公園の一部で、大分県のくじゅう連山に囲まれています。タデ原湿原は、6300年前の噴火で発生した火山灰や岩屑で白水川（しらみずがわ）がせき止められて作られました。タデ原湿原は湧水が豊富で、四季折々、水を好む湿性植物の花を見ることができます。長者原ビジターセンターでは、タデ原湿原に関する情報を手に入れることができます。本施設は、様々な散策ルートの出発地点であり、長者原高原や周辺の自然環境についてもっと知りたい方のための情報センターでもあります。

タデ原湿原は、三俣山、硫黄山、星生山などが連なるくじゅう連山の麓にあり、ビジターセンターの東に広がっています。坊ガツルと共に、タデ原も、ラムサール条約の基準を満たす国際的に重要な湿原として登録されています。

このセンターでは、長者原に関する最新の観光情報、展示、パンフレット、映像、観光ガイドなどが利用できます。展示は、長者原の豊かな環境が中心で、この地域に生息する珍しい植物、動物、昆虫や、この地方に住んでいる人の特有の活動を紹介しています。